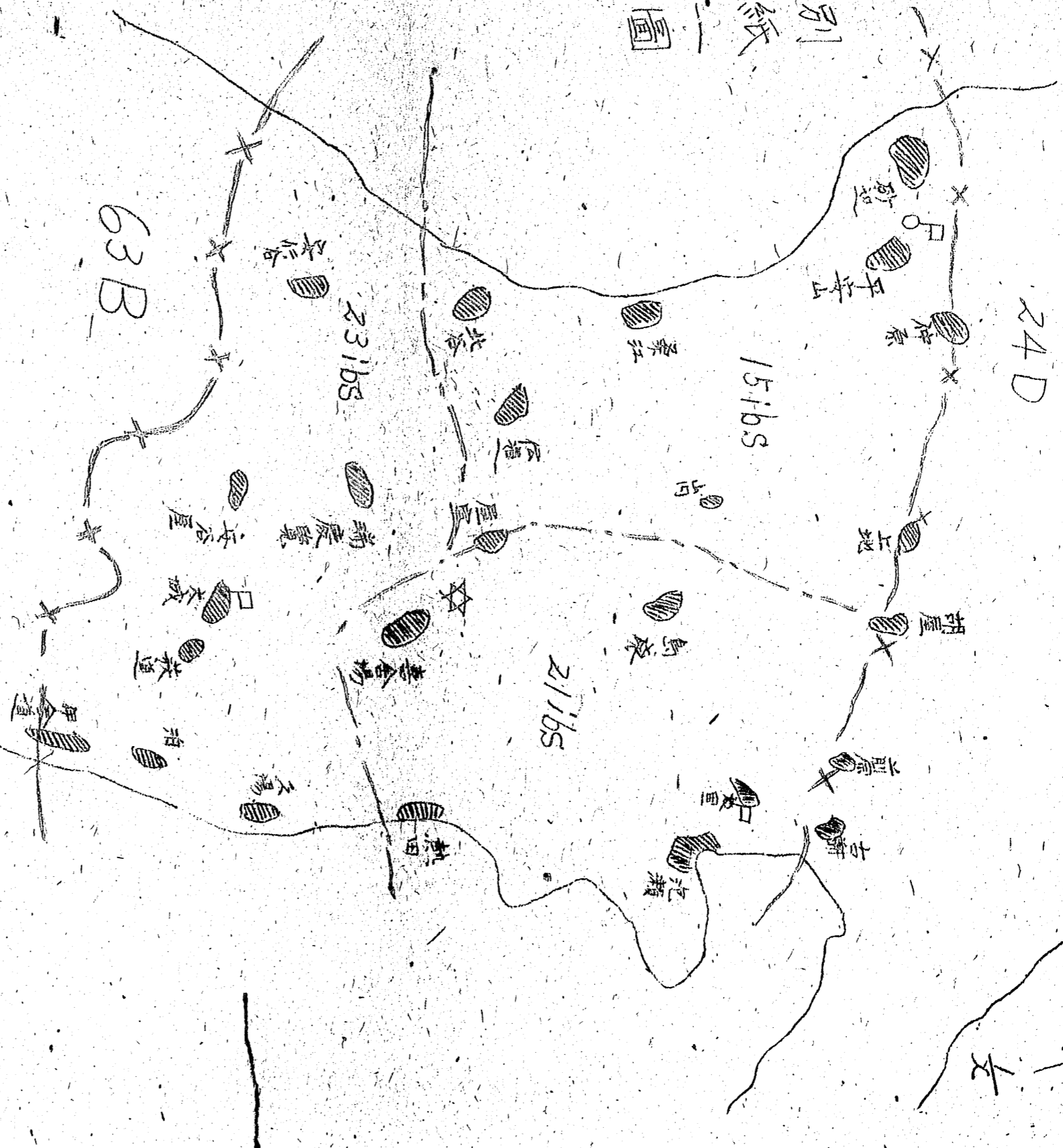


別紙一圖



八月二十日ヨリ十二月七日ヲチノ警備地區



別紙三

一月三十一日ヨリ敵上陸ヲテ



三月十一日 山形県 山形市



知念半島モ僅カニ二月ヲ以テ再ビ転進ス  
 一月三十一日一齊ニ旅團ハ那覇一國場川一仲井眞一松川一末吉  
 一人名一仲間一牧港(南端)ヲ連ヌル最モ主要敵上陸公算ナル  
 地矣ヲ担任シ防衛ノ主任ヲ痛感シテ陣地ノ構築ヲ行フ  
 此ノ時ニ於ケル旅團軍隊已分左ノ如シ  
 (別紙第三圖)  
 司令部(澤田) 沖西國民学校 21abs (仲祖) 23abs (那覇)  
 獨機十四大隊(安波茶) 獨連三二大隊(城間) 獨歩二七三大隊(栄吉)  
 中村海軍防空隊ニテ小隊 2abs 直轄小隊 配屬小隊

フリーッピン戦線ノ悪化ニ續キテ硫黄島玉碎ニ陣地ノ構築ハ晝  
 トナク夜トナク行ラシメテ奮闘進捗度ヲ進メタ

硫黄島ヲ制シテ敵機動部隊ハ九州南方地ニテ空襲ヲ續イテ  
 四國南方海上ニ移動其ノ後影ヲ消シテ居タガ屋ニ三月十日突然  
 奄美大島東方海上ニ現レ本島東方海上南下後再ビ軸艦ヲ北  
 ニ取リテ本島ニ近接空襲ガ行ハタ  
 此日三月二十日午前六時頃テアツタ  
 三月二十日、五トシテ度良間列島ニ攻撃ノ重兵ガ指向セラレタモノ



如ク終日三巨砲空襲が行ハレテ居ルカ本島ヨリ望見セラレシ  
三月二十三日敵機動部隊が本島週辺に接近シ先ガ久高島ニ対シ  
艦砲射撃が行ハレ午後ヨリ八洲州附近ニ移行サレ同日夕ニ西海  
岸ニ宇回シ海ガ水平線上ニ現レタ  
コレニヨリ敵機動部隊が上陸作戰が行ハルヲハ決定的ナリ  
甲号戰備下令セラレ部隊戰斗準備カ進メラレタ  
コノ時ノ旅團軍隊已分左ノ如シ

步兵第六十四旅團司令部 中村防空隊一ノ小队

↑ 独立歩隊第五大隊

↑ 高射機砲第一〇三大隊

↑ 高射砲第八十一大隊一ノ小队

↑ 独立歩隊第二十一大隊

↑ 獨立連射砲第二十二大隊二ノ中隊

↑ 高射砲第七十九大隊一ノ小队

↑ 中村防空隊一ノ小队

↑ 獨立歩隊第二十三大隊

↑ 高射砲第七十九大隊一ノ小队

↑ 高射砲第八十一大隊一ノ小队

↑ 獨立連射砲第三十二中隊

↑ 獨立飛行第二十六中隊

此外獨立白砲第一聯隊(一中隊欠)ハ四月十九日以降既屬セラル

三月二十四日敵機動部隊ハ嘉手納湾近ク入り北飛行場及其ノ  
附近ニ對シ艦砲射撃が行ハレ一方漆川附近ニ對シテモ終日砲撃  
カ行アルヲ敵軍ハ兵カラニ介スルヲ作戦カ行ハレタ  
コレヨリ上御時迄ハ毎日繰返シテ上陸地ニ兵ノ攻撃及海岸機雷ノ  
破壊カ行ハレ數百隻ノ敵艦ニ包圍サレタ將兵ハ何時カノト待  
テ居タ  
四月一日拂曉嘉手納湾ヲ望見スルニ敵艦船群集シ上陸企圖  
確實ナリ各隊ハ準備緊張シタ  
愈ニ滿潮時九時ニシヤ一勢力ニ艦砲射撃ガ水際障地ニ對シテ  
行ハレタ  
此ノ狀況ヲ澤底八十二高地ヨリ望見スルニ仲西飛行場北端ヨリ  
残波岬ニ至ル間ハ水際ノ砲煙ニ包コレ爆音ハ断絶ナク堂々イル

68B  
70  
9

様十且ツテ想像シタコトナク、  
 秦川附近ノ砲音又然リ敵空襲以來上陸近司令部ハ人  
 負ノ損害ナク各部隊ノ損害モ亦勤ク將兵ノ志氣揚々ナリ  
 四月一日上陸以來飛行機ノ攻撃次第ニ増シ二日六澤岫部落  
 民家ヲ全燃シ爆弾ヲ投下スル等積極的ニ攻撃ヲ行ハレタ

四月三日ニ至ルヤ敵ハ既ニ主陣地外大山ノ線ニ迫リ我カ連射砲為  
 ニ戦車数輛ヲ擱座炎上号タル為 我カ主陣地ナルヲ察知シ四月十日  
 ハ旅團ノ兵力モ殆ド消耗セタムニ至リ大隊ノミカ攻勢ニ参加シタ為  
 多クノ損害ヲ出シタリニテ未ダ志氣揚々タルモガアフタ

独歩十三大隊ノ嘉敷附近ニ戦ニ依リ兵力ノ消耗殆ド戦死状  
 況ニ依リ十三大隊ノ警備地ヲ十三大隊担任スルコトナリ二十日  
 交代スル予定トナフテイタガ十九日ヨリ本格的ノ首里攻撃ニ依リ  
 十九日ヨリ嘉敷ニ於テ戦フス  
 此ノ時十三大隊長山本少佐ハ巧ニ部下將兵ヲ指揮シテ七五高  
 地嘉敷陣地ニ対スル敵ノ猛攻ヲ阻ニ又一方嘉敷國民学校南端  
 三又路ニ於テハ完全ニ歩線ヲ分離シ修ト戦車ノ肉攻ヲ加ヘテ十  
 数輛ノ戦車ヲ擱座炎上セシムル功ハ尙ニ大ニシテ一躍部隊長ノ名聲

四月十九日敵主陣地突破時ニ於ケル状況要圖

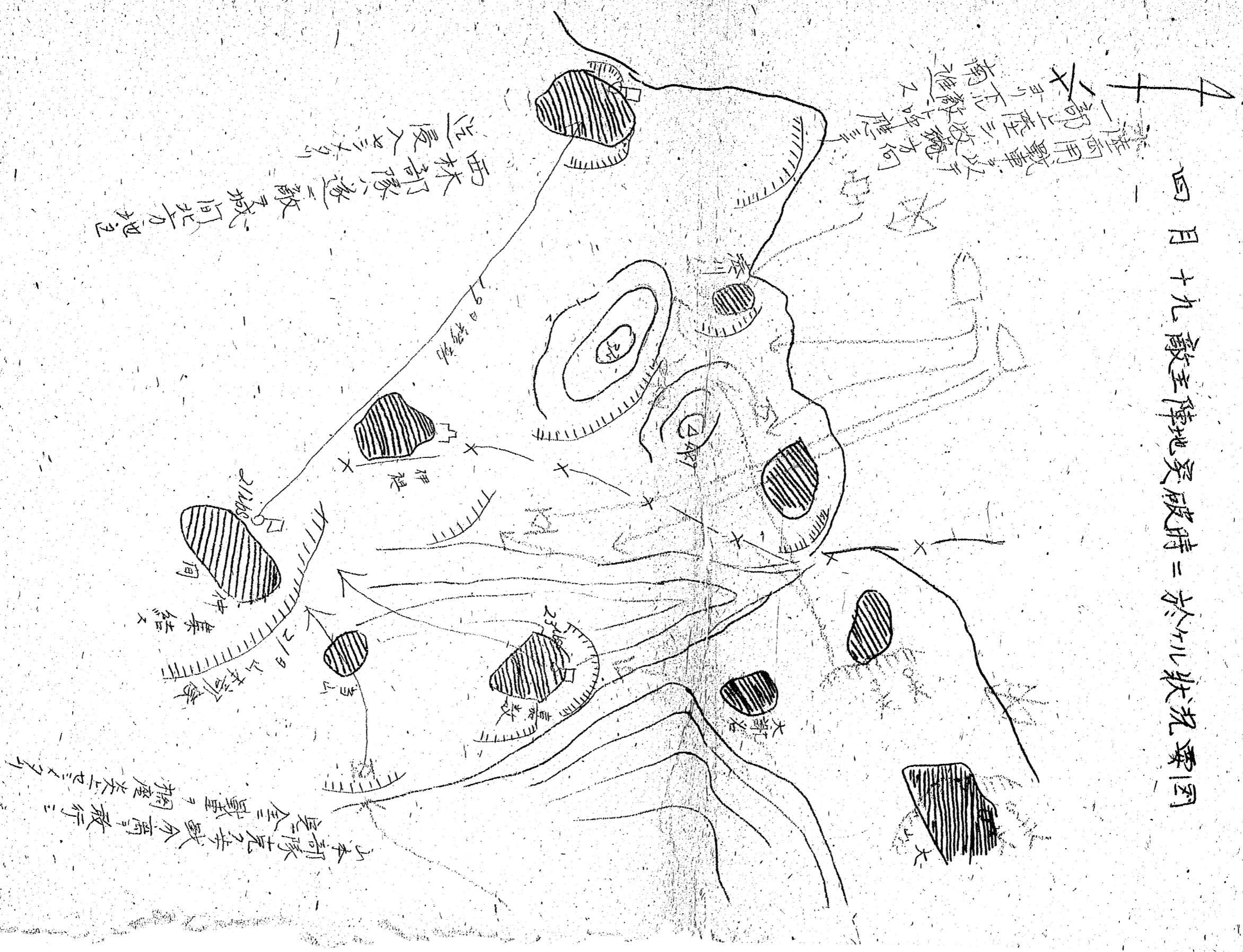
敵軍回北ノ意



隊員共ニ戦力高ク散行ニ  
 全軍ニシテ擱座炎上シタ

地喜教陣地ニ対スル敵、猛攻ヲ阻ニ又一方嘉教國民學校南端  
 三又路ニ於テハ完全ニ歩線ヲ分離シ修シト戰車ニ肉攻ヲ加ヘ十  
 教斬、戰車ヲ閉座炎上セシメ成功ハ拘テ大ニシテ一躍部隊長、名聲

四月十九日敵主陣地突破時ニ於ケル狀況要圖





高クツタ 一方牧港伊祖方面ヨリ主陣地線ヲ突破シタ  
 敵ハ深く城間北端マテ進出セリ  
 愈ニ旅団モ本格的ナ戦ヲ開物シタ  
 山本部隊方面ハ状況有利ナド西林部隊方面ハ有利ナラズ  
 遂ニ主陣地内ニ敵侵入セリコレニ依リ旅団ハ二一大隊長ニ対シ  
 極力敵情報ヲ蒐集集セシメタ  
 此ノ時二一大隊長西林中佐ハ独力ヲ以テ敵ヲ撃退スルカヲト  
 ノ返アリタル爲ニ旅團長ハ十九日ハ二一大隊独力ヲ以テ攻撃セシ  
 メタレド成功セズ  
 此ノ報師団長ニ報告スルヤ師団ハ独力ヲ以テ攻撃ヲスル様ニトシ  
 命令アリタルタテ旅團ハ西林部隊及飯塚部隊ノ二一大隊ヲ以テ  
 計画ス  
 戦地境ハ伊祖西端トシ左第一線ヲ西林右第一線ヲ飯塚部隊  
 トシ攻撃ヲ開始サレタレド西林部隊ハ城間北端附近迄アリ  
 進出スルコトが出来ナカッタ  
 勿論同夜部隊長ガ屋高祖東方  
 五八高地台ニ於テ部下ヲ掌握スレド各中隊平均四名程度  
 テ二日間ニ亘ル戦斗ニ旅団大少数ハ消耗サレテイタ





一方飯塚部隊一部、伊祖一中隊ヲ伊祖城跡一ヶ中隊ヲ伊祖東方台台ニカドシテ突入シテ、ニシテ徒ヲ兵力消耗ヲ末スバカリナル故、飯塚部隊ニ対シテ二十日再ビ旧警備地ニ後退命令が出サレタリ。

残リニテ中隊ハ二十五日頃脱出多ク、中隊兵力ハ三十三名デアリタリ。此ノ時伊祖洞窟ニ残リテ、西林部隊大尉以下、衛生兵及患者モ共ニ脱出シテ一先、輝岫後退ス。

西林部隊ハ四月二十九日頃迄警備地ニ在リテ、城間三十二高地及屋富祖五十八高地ニ在リテ戦ヲシ、最後ニハ部隊長直接指揮スルモ、数名ニ消耗サレタリ、旅団ハ西林部隊ニ対シテ後退ヲ命ジ、輝岫附近ニ於テ部隊ノ整理ニ努メタリ。依ッテ西林部隊兵力ハ百九拾名程ニ及ビ、経塚附近ニ警備ス。時五月三日頃テ、夕山本部隊ハ三十三大隊(四月二十三日未明ニ至リ、牧港一伊祖方面ノ敵深ク侵入スルヲメ、戦線ヲ集結シ、仲間北方台地迄後退ス。

四月二十日 西林部隊 飯塚方面  
 輝岫ニ戦ハシ、五月

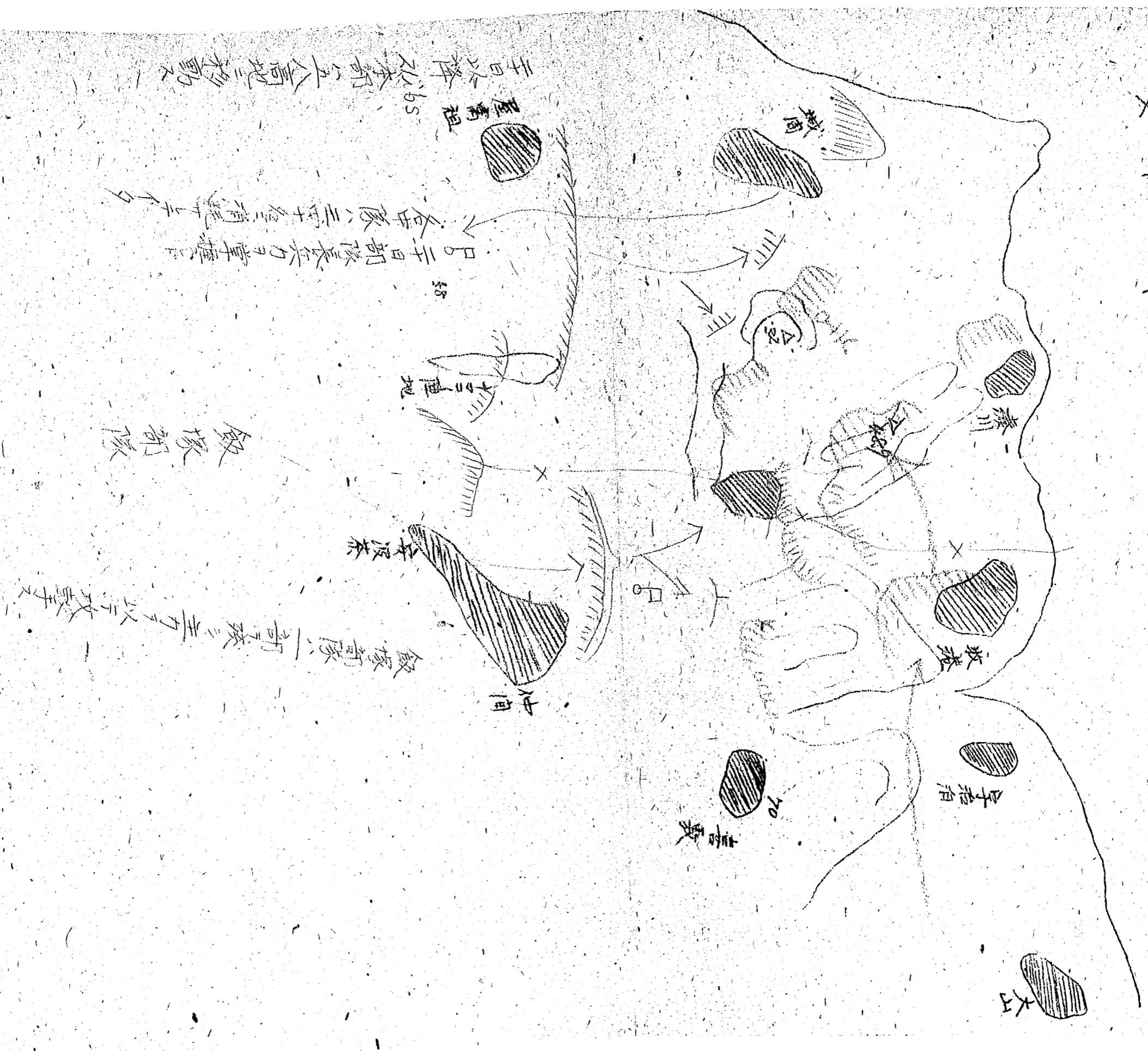
ノ  
 三十三大隊(海軍陸揚隊)ヲ編成シ、四月



深之侵入... 影...

四月二十日 西林部隊 敵塚部隊 攻勢要圖

女十 女十





四月三日未明、伊祖方面、敵  
 集結、仲間北方台地迄後退ス

女野味一區

仲間陣地ニ於テ旬ル方戰奮斗ハ遂ニ感狀ニ値シ五月  
 上旬感狀ヲ受領ス  
 此、向特設独立歩兵三大隊（海上挺進基地大隊ヨリ特編セルモノニ  
 シテ前度良間ニ在リテ艦船特攻、陣地作業セル部隊）及び四十四  
 旅団三大隊等配属ナリ、西部隊共殆ニ戦死ス

五月七日頃西部隊共原隊復歸ナリ、山本部隊ハ五月十一日夜澤岬  
 ニ後退ス、尚山本部隊ニ協力カ戦シ、村山部隊（外）ハ阿波茶  
 ニ於テ敢斗ス

村山部隊ハ九日阿波茶ヨリ後退命令通信杜絶、為受領出  
 来ズ一日遅レテ五月十二日夜村山部隊長以下ノ数、生存者  
 後退ス、此、時村山部隊長ハ澤岬北方凹地ニ於テ敵彈ノ多  
 戦死ス

部隊長伝令某兵長ハ部隊長、圖彙ヲ持参シ左記、如ク戦死ノ状  
 況ヲ報告ス  
 此時村山部隊、生存者ハ下士官以下数名アルニテアタタ